



水口かずえ



まちづくり市民こだいら通信 2023年4月12日号

3月定例会一般質問報告（多文化共生）

小平市の外国人人口は 過去最多に

東京都の統計では、小平市の外国人人口は、今年1月1日現在で5,458人と過去最多になり、多文化共生のまちづくりが一層求められます。総務省が2020年9月に改訂した「地域における多文化共生推進プラン」は、市区町村に多文化共生の推進に関する指針・計画の策定を求めています。小平市は独立した多文化共生推進プランをつくらず、策定中の文化スポーツ推進計画の中に入れようとしています。

多文化共生推進プランを 協議する協議会の設置を

東村山市では、学識経験者を会長とし、国際交流関係団体から4名、当事者である外国籍市民3名、公募市民2名の計10名からなる協議会があり、プランの推進や見直しについて年5回程度協議しています。小平市でも協議会の設置をと求めましたが、他市の取り組みを確認し、協議会がよいかどうかを含めて今後判断していくと答弁しました。

多言語で一元的な 相談窓口の設置を

小平市には、外国籍住民向けの相談窓口がありません。出入国在留管理庁は、在留外国人の在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等の生活に関する相談を多言語で受ける一元的相談窓口の設置・拡充と運営に必要な経費を交付しています。新宿区、練馬区、西東京市、八王子市などは、この交付金を得て相談事業を行っています。交付金を活用して、小平市でも一元的相談窓口を設置してほしいと求めました。

外国籍の子どもの 就学状況の把握を

小平市の昨年5月の就学状況把握調査で、12名の外国籍児童の就学状況が把握できず、現時点でも6名の就学状況が確認できていないことが判明しました。子どもたちは教育を受ける権利をもっています。6名がどのような状況なのか、丁寧に確認してほしいと求めました。



水口かずえ プロフィール

1962年東京生まれ。1985年津田塾大学卒業。
(株)プレス・オールターナティブ等に勤務後、
消費者問題、環境問題の分野でフリーライター。
2013年小平都市計画道路3・2・8号府中所沢線の
計画見直しを問う住民投票を実現。2017年小平市
長選挙に立候補。2019年より小平市議会議員

発行：まちづくり市民こだいら
<https://www.machidukuri-kodaira.org/>
電話番号：090-8341-9170
メール：machidukurikodaira@gmail.com